

NEWS RELEASE

**レオパレス 21 と KDDI、IoT 活用による
不正駐車・ごみ出しの遠隔監視に関する実証実験を開始
～IoT でより安心・安全で便利な生活へ～**

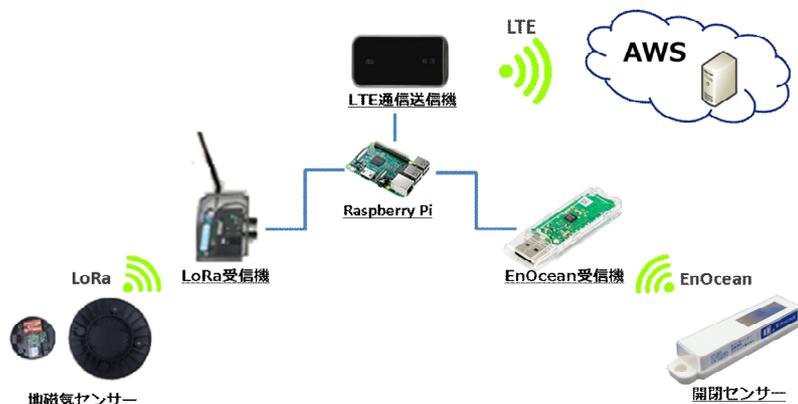
株式会社レオパレス 21（東京都中野区、代表取締役社長：深山 英世、以下レオパレス 21）と KDDI 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：田中 孝司、以下 KDDI）、KDDI グループのアイレット株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：齋藤 将平、以下アイレット）は、オプテックス株式会社（本社：滋賀県大津市、代表取締役社長：上村 透、以下オプテックス）とともに、2018年3月26日より、IoT を活用した賃貸アパートの駐車場とごみ置き場の遠隔監視に関する実証実験を開始します。

「契約駐車場の不正駐車」、および「時間外のごみ出し・不法投棄」は入居様のお困りごとの上位であり、快適で安心して暮らしていただくために、これまでレオパレス 21 においても解決に向け取り組んでまいりました。

本実証実験では、対象のレオパレス 21 管理物件（埼玉県川口市 1 棟）において、駐車スペースに設置された地磁気センサーによって駐車有無の検知が可能となっており、駐車がある場合、管理者に自動で通知されます。また、ごみ置き場の扉には開閉センサーを設置し、指定時間外に開閉があった場合には、管理者に通知されます。通知を受け取った管理者は、既存のネットワークカメラで現場の状況を確認することができ、時間外のごみ出しおよび不法投棄を監視可能となります。なお、監視状況はクラウド上に管理されるため、パソコンやスマートフォン等でいつでも確認することができます。

これにより、管理者は物件を常に監視する必要がなくなるため、業務効率化に繋がります。また、センサーによる通知によって、不正駐車と時間外のごみ出し・不法投棄に即時対応が可能となります。

本実証実験で、IoT 活用に関する実用性・技術の検証を行い、今後、レオパレス 21、KDDI、アイレットは、賃貸物件を中心に IoT を活用する各種サービス等への応用・展開を模索し、入居様がより一層安心・安全に住める環境の実現を目指してまいります。



<システム構成図>

<本件に関するお問い合わせ>
株式会社レオパレス 21 コーポレート・コミュニケーション推進室 TEL: 03-5350-0445

■ IoT 活用によるマンションの不正駐車・ごみ出しの遠隔監視に関する実証実験 概要

実施期間：2018年3月26日から2018年4月25日まで

場所：埼玉県川口市(レオパレス21管理物件、1棟)

内容：駐車場の不正駐車監視と時間外のごみ出し・不法投棄監視に関する実証実験及び検証

(1) 駐車場の不正駐車監視

未契約駐車場において、駐車有無検知により不正駐車を遠隔監視します。不正駐車検知時には、管理者へメールで通知します。

(2) 時間外のごみ出し・不法投棄監視

指定時間外に開閉を検知した場合、管理者にメールで通知されます。通知を受け取った管理者は、既存のネットワークカメラで現場の状況を確認することができ、時間外のごみ出しおよび不法投棄を監視可能となります。



地磁気センサー(駐車場)



開閉センサー(ごみ置き場)

■ 各社の役割

○レオパレス21

・実証実験の場所提供、および実証実験に伴う管理業務全般と評価

○KDDI

・実証実験の取りまとめ
・システム全体設計、構築
・通信ネットワークの提供

○アイレット

・AWS環境の設計構築
・センシングデータ連携アプリ開発
・ダッシュボードデザイン

○オブテックス

・センサーの開発・提供、構築

株式会社レオパレス21について

レオパレス21は、1973年の設立以来、「新しい価値の創造」を企業理念に掲げ、アパートの賃貸事業と開発事業をコア事業として展開しています。賃貸事業では、個人のお客様だけでなく、法人のニーズにも対応し、国内上場企業のうち、約8割の企業にご利用いただいております(延べ利用実績)。この他にも、シルバー事業、ホテル・リゾート事業など、お客様の満足度を高める事業を多角的に展開しています。

また当社では「攻めのIT経営銘柄」(戦略的IT活用促進)、「プラチナくるみん」(子育てサポート)、「準なでしこ」(女性活躍推進)、「ホワイト500」(健康経営)、「イクボス同盟」(人材教育)などの認定を取得し、中長期の企業価値向上に向けた取り組みを積極的に推進しています。

